

具体的な事例から学ぶ

No. 21

発行：山口県教育委員会

令和5年11月27日

～考えよう！自分のこととして～

1 テーマ

「学校における個人情報の適切な取扱い」について

学校では、児童生徒の成績や指導記録、家庭に関する情報など、多くの個人情報を取り扱っていますが、近年、個人情報の漏洩事案が増加しています。個人情報が漏洩した場合、児童生徒・保護者への被害のみならず、学校や教職員に対する信頼にも影響を及ぼす重大な問題となります。学校では、学期末や入学試験等に向けて個人情報を扱う機会も多くなるため、個人情報の適切な取扱いについて、留意点を確認しておきましょう。

2 事例 ◎ 以下の事例は、誰にでも起こり得ることとして捉えることが重要です。

【事例1】 教育相談の内容を記録したノートを置き忘れた事例

教員Aは、朝、担任をしているクラスの生徒から「友達に嫌なことをされている」と相談があったため、クラスの隣の空き教室で、教育相談を行った。

教育相談が終わると同時に、保護者から教員Aに電話連絡があり、教員Aは教育相談の内容を記録したノートを置いたまま、職員室に行き、電話の対応をした。その後、授業で空き教室を使用した生徒が、教員Aが置き忘れたノートに書かれていた相談内容を目にした。

【事例2】 保護者宛てのプリントに児童の成績の情報が混ざって配付された事例

教員Bは、テストの採点を終え、クラスの児童の成績の一覧表を印刷して、自分の机の上に裏返して置いたまま帰宅した。翌日、教員Cが、児童に配る保護者宛てのプリントを教員Bの机の上に、クラスの数分置いた。教員Bは、そのプリントをクラスの児童に配付したが、プリントの中に成績の一覧表が混ざっていたことに気付かなかった。

その日の放課後、クラスの保護者から教員Bに、「子どもが成績の一覧表を持って帰ってきた」と連絡があった。

【事例3】 メールアドレスの設定ミスの事例

教員Dは、学校行事の連絡を、担当している学年の保護者に一斉メールで送信する際、登録された保護者のメールアドレスを「BCC」ではなく、誤って「TO」に設定して送信したため、送信先の全員が全てのメールアドレスを閲覧できる状況が発生した。

3 「個人情報の取扱い」に係る「人為的なミス」を防ぐために

- 「決まった場所に保管する」「机上は整理・整頓する」「決まった手順で作業する」など、個人情報を取り扱う際は、常に細心の注意を払って対応しましょう。
- 「誰が管理し、どのような目的・方法で使うのか」「情報セキュリティポリシーにはどのようなルールが示されているか」など、個人情報に係る学校のルールを確認・徹底しましょう。

4 「個人情報の取扱い」に関する自身の意識や行動をチェックしてみましょう☑

- ◎ 個人情報を含む電子媒体や資料等の紛失や置き忘れ等を防ぐために…
 - 児童生徒の個人情報が記録されているノートやタブレット端末は手元から離さないなど、常に慎重な取扱いを心がけていますか。
 - 個人情報が含まれている書類等（家庭状況調査票、テスト、通知表等）を机上に置いたまま離席するなど、個人情報を不用意に取り扱っていませんか。
 - 過去の児童生徒の成績などの個人情報を、個人のUSBやハードディスク等に保存していませんか。
- ◎ メールによる個人情報の漏洩を防ぐために…
 - 個人情報を含む重要なメールを送信する際には、宛先や添付ファイル等について、複数名で確認した上で送信していますか。
 - メールで個人情報を含むファイルなどを送る場合は、ファイルを暗号化したり、パスワードを設定したりしていますか。
 - メールを送信する際は、宛先が正しく設定（設定したアドレスを他の受信者に見られないようにする場合は「BCC」に設定等）されているかを確認して送信していますか。